

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 13日

事業所名 たんぽぽの家

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	100%	0%	利用人数や遊び方によって多目的室等を使い利用スペースを確保している。	コロナ禍の今、空間の確保が困難な状況になる場合もあるが3階の多目的室の利用などで分散している。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		基準より多く配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	71%	29%	3階に行くのが階段のみ	一階フロアはバリアフリーだが、上の階に行く手段が階段しかない
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	定期的に行われていると思う	定期的なミーティングを行ったり、グループラインを活用し、必要に応じて個人的に面談を行うようにしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		行っている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	入社間もない職員にもアンケートを取っている。	毎年アンケート調査を実施している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		現時点では行っていない。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	コロナ禍で研修は困難な所もあるがリモートで実施している。	本人からの希望や適性職員に研修を進めたりしている。その他、毎年、時間の都合上、参加できない職員(パート)もいるが全体研修を行っている(年1回程度)	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	各職員相互の意見を出すようにしている。	利用者の状況に合わせ、職員の意見を出し対応するようにしている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	対応職員の意見を取り入れるようにしている。	使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	ミーティング等で話し決めるようにしている。	毎日のミーティングの中で行っているが、午後よりの出勤職員の意見が取り入れにくいところがある。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	子供たちにも何がしたいか尋ねたりしている。	当日の利用者の状況に合わせプログラムを考えている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	偏りがないように職員で話し合いながら決めている。	個別対応の時間を作り対応している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		一人一人のニーズに合った計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	申し送りノートやケース記録で情報共有を行っている。	朝のミーティングを活用し各職員の動き等を把握するようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	申し送りノートやケース記録で情報共有を行っている。	送迎後の為、パート職員が帰宅し支援終了後に振り返り、打ち合わせが難しいところがある。申し送りノートやケース記録で情報共有を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	支援終了後にケース記録を書くようにしている。	業務時間内に書き切れないところがあるが、翌日の朝に書くようにしている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	各職員からの意見も尋ねるようにしている。	定期的にモニタリングを行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%		基本活動を組み合わせ合わせて支援している。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		子供の状況を理解している職員が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	必要に応じて相談員を通じ学校等と連携をとるようにしている。	学校や保護者と連携をとり行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	86%	14%		以前は医療的ケアを行っていたが現在は休止中。今後再開する予定
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	お迎え時などに先生と話し情報を聞くようにしている。	相手方(保育所、幼稚園)によって情報共有が難しいところがある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%		必要に応じて行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%		必要に応じて施設におもむいたり、来てもらうようにしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	71%	29%	イベントに保護者、兄弟を呼び交流を図っている。	コロナ禍の為、他の施設等の交流はないが、イベントなどで保護者、兄弟との交流を行っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	14%	86%	協議会での話を各職員に伝えるようにしている。	管理者が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	各職員が連絡帳係や送迎職員に子供の状況を伝えるようにしている。	連絡帳を通じ伝えたり、送迎時に話すようにしている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%		必要に応じて行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に加え、請求時にも伝えるようにしている。	行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	送迎時、聞き取りをしたりしている。	個別の対応で行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	イベント時に交流を図ってもらうようにしている。	コロナ禍の為、特別に保護者会として開催することは出来ないが、夏祭り等のイベントに来てもらい交流を図っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	迅速に保護者と連絡をとり、各職員からも情報をとるようにしている。	苦情に関しては迅速に対応している。またミーティングなどで情報を共有し今後の対応などを話し合っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	YouTube、Facebookを活用している。	活動予定については月初めに来月予定のプログラムのお知らせを配りお伝えするようにしている。またYouTube、Facebookに加え、必要に応じてlineアット等でお伝えするようにしている。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		細心の注意をしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	利用者についてはカードや筆記で意思疎通を図ったりしている。	配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	幸ほりに行った時などに近隣の人に配るようになっている。	コロナ禍で行えていない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%		マニュアルについては職員に周知している。防犯については出入口が一か所しかなく不安なところがある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	避難訓練に利用者も参加してもらい、一部の利用者には消化器の使い方も練習してもらっている。	消防点検及び避難訓練は年二回専門業者の式の下、実地している。時間帯によって参加できないバートがある。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		全体研修時に行うようにしている。開催日によって参加できないバートがある。今後は毎月のミーティングで必要に応じて行うようする予定。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%		全体研修時に行うようにしている。今後は毎月のミーティングで必要に応じて行うようする予定。現在は対象になる児童はいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	14%	86%		現在、対象となる児童は利用していない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	グループlineを活用している。	現在はミーティングや申し送りノートで共有している。